香川県高等学校PTA連合会

香川県高P連だより 第19号

令和5年10月1日発行　発行・編集／香川県高等学校PTA連合会事務局　高松市西内町7番11号　香川県高等学校PTA会館内
TEL087-851-4614　FAX087-851-4628　E-mail info@kagawa-koupren.com　URL http://kagawa-koupren.com/

会長あいさつ

香川県高等学校PTA連合会
会長 **杉本 勝利**

会員の皆様方におかれましては、日頃より香川県高等学校PTA連合会の活動に対しまして、ご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、学校現場においては本格的に教育活動や学校行事が再開されるようになり、PTA活動におきましてもかつての活力や賑わいを取り戻した学校も多いのではないでしょうか。どの学校でも時代の変化に対応しながら教育活動の充実に取り組んでおられる中、PTA活動におきましてもデジタルツールの活用など、活動の一層の充実や工夫が必要であると感じています。また、保護者と教職員がより一層連携・協力しながら生徒や学校、そして地域の未来のために協力・支援していくことが大切であると感じております。

高P連といたしましては、各学校PTAから寄せられたご意見やご要望にできる限りお応えできるよう尽力してまいりますとともに、生徒たちの学校生活がより充実したものになるよう、また、より多くの会員の皆さんにPTA活動の意義を実感していただけるよう努めて参りたいと考えております。

最後になりましたが、今後ともPTA会員の皆様方のご理解とお力添えを賜りますようお願い申し上げご挨拶といたします。

令和5年度 香川県高等学校PTA活動推進功労者表彰及び高P連総会 並びに 一般財団法人香川県高等学校教育振興会定時評議員会

6月8日、レクザムホールにおいて、令和5年度PTA活動推進功労者等の表彰式及び香川県高等学校PTA連合会総会、並びに一般財団法人香川県高等学校教育振興会定時評議員会が開催されました。

表彰式では、淀谷県教育長を始め、県教育委員会、関係団体等のご来賓のご臨席をいただきました。

今回退任されたPTA活動推進功労者として、表彰状50名、感謝状46名、県連本部功労者15名が表彰され、杉本勝利会長から賞状と記念品が贈られました。

来賓祝辞のあと、受賞者を代表して高松西高校PTA会長であり、本会監事であった森田光弘様が心のこもった感動的な謝辞を述べて式は終了しました。

今年度からは、昨年度から開始した高等学校等PTA広報誌コンクールの表彰式もあわせて行いました。その詳細は8Pの「PTA NEWS」のとおりです。

高P連総会においては、

○令和4年度事業報告
○令和4年度収支決算、監査報告
○令和5年度事業計画案
○令和5年度収支予算案
○令和5年度役員の選任
○第5回香川県高P連研修会について
○第65回中国・四国地区高P連大会（岡山大会）について
○第72回全国高P連大会（宮城大会）について

の議案について、本会役員より説明・報告の後、審議され全議案が承認されました。

続いて、教育振興会定時評議員会においては、

○令和4年度収支決算、監査報告
○理事及び監事の辞任に伴う後任者の選任の2議案が滞りなく議了しました。

また、2月の理事会で議決されていた

○令和4年度事業報告
○令和5年度事業計画
○令和5年度収支予算

の3項目の報告が行われ会は終了しました。

令和5年度高P連役員あいさつ

目次

会長あいさつ……1
香川県高等学校PTA活動推進功労者表彰及び高P連総会
並びに　一般財団法人香川県高等学校教育振興会定時評議員会
池田知事に要望書提出、教育長との意見交換会実施……2
役員名簿……3
新規事業／「振興奨励助成事業」／祝表彰
キャリアデザイン研修（香川大学）……4
〃（せとうち観光専門職短期大学）……5
中・四国、全国高P連大会報告……6
PTA活動報告（琴平高校、香川誠陵中学校・高校）…7
県教育委員会より……8
PTA NEWS

学校教育の充実のため　池田知事あてに「要望書」提出

8月4日、高P連の杉本会長、入門副会長、神余副会長、事務局長の4名が参加し、高P連からの要望書を池田知事に提出しました。

要望に先立ち、杉本会長が高P連は学校種や公私を問わず、すべての生徒たちが充実した学校生活が送れるよう支援したい、そのためにも各学校のPTAから寄せられた意見や要望をお伝えしたいと話しました。その後、今年度の要望について、参加者全員から説明を行いました。

要望書の内容は大きく分けて、公私間の格差是正、学校教育の充実、教育環境の整備・充実の3点です。まず最初に、杉本会長が空調関係経費について公費化が実現した公立高校と私学との間で不公平感が高まっているのでその是正をお願いしたいと要望しました。

次に入門副会長からは、各学校が地域連携や地域貢献に力を入れていることや特色化・魅力化に取り組んでいることを踏まえ、大学や産業界との連携事業の推進や特色化・魅力化のための経費面での支援などを訴えました。また、神余副会長は県教育委員会への要望している内容のうち、特に老朽化した建物の計画的な改修やトイレの洋式化・バリアフリー化、ICT支援員の増員などを要望しました。最後に事務局長から、特別支援学校における教育環境の整備や指導体制の充実、特に働き方改革のためのスクールソーシャルワーカーの配置について要望しました。

池田知事からは、「要望の趣旨や内容はよく理解している。私学については全体の中で応援を考えていきたい。地域連携の取組みも大変重要なので県内の産業界に触れる機会を増やしていきたい。施設設備ではトイレの改修にいの一番に取り組みたいと考えており、Wi-Fi環境の充実にも力を入れたい。特別支援学校のニーズも理解しており一歩一整備を進めていきたい。ICT教育の充実も経費が大切なので、今後きちんと考えていきたい。」との回答をいただきました。どの要望にも真剣に耳を傾けていただいただけでなく、一つ一つ丁寧にお答えいただいたのが印象的でした。

知事に要望書を手渡しました

県教育長との「意見交換会」実施

8月2日、県教育委員会と高P連代表者との意見交換会が、天神前分庁舎の教育長室で開かれました。県教育委員会からは淀谷教育長ほか幹部6名、高P連からは杉本会長、入門副会長、山田監事、事務局長の4名が出席しました。

意見交換会では、まず杉本会長が、今年度実現した教室空調関係経費の公費負担についてお礼を申し上げるとともに、現在進めているICT活用教育推進事業の意義や期待についてお伝えしました。そして、高P連としては県教育委員その後、高P連代表者4名が、それぞれ学校教育の充実や教育環境の整備に関する要望を説明しました。それらの内容は以下のとおりです。

【学校教育の充実について】

①地域に貢献する人材を育成するため、大学や産業界と連携する機会を増やしていただきたい。

②SNSの活用など中学校の早い段階から各学校の取組みを発信する工夫をお願いしたい。

③各学校が魅力化・特色化の取組みを一層推進できるよう経費面での支援をお願いしたい。

④特別支援学校において進路情報の提供と指導の充実のための教員の増員をお願いしたい。

【教育環境の整備・充実について】

①老朽化した建物の計画的な改修、特にトイレの洋式化やバリアフリー化を進めていただきたい。

②一人一台端末についてハード面の整備・充実とICT支援員の増員をお願いしたい。

③特別支援学校の特別教室の整備など障がい種に応じた教育環境の整備を進めていただきたい。

④特別支援学校に医療・福祉などの外部人材や卒業後のフォローのための人員配置をお願いしたい。

⑤特別支援学校の働き方改革のため、スクールソーシャルワーカーの配置をお願いしたい。

淀谷教育長からは、それぞれの内容について一つ一つ丁寧に回答していただきました。特に、学校の置かれている現状やさまざまな課題について理解しており、今後、できる限り対応策を検討又は推進していきたいとのお考えをお話しくださいました。

高P連では、今後も学校のさまざまな課題や要望について意見をお聞きしながら、県教育委員会との意見交換を行っていきたいと考えています。

県教委幹部との意見交換会のようす

役員名簿

令和５年度
一般財団法人香川県高等学校教育振興会

役職名	氏　名	所属校等	所属高校等役職名
理事長	杉本勝利	香川中央	顧　問
常務理事	國木健司	振興会事務局	事務局長
理　事	金子達雄	高松工芸	校　長
	山本主税	高松商業	校　長
	小山圭二	観音寺第一	校　長
	髙﨑雅人	高松第一	校　長
	香川泰造	高松中央	校　長
監　事	山田士郎	高　松　西	PTA会長
	高田　智	丸亀城西	PTA会長

役員名簿

令和５年度
香川県高等学校PTA連合会

役職名	氏　名	所属PTA	単P等職名
会　長	杉本勝利	香川中央	顧　問
副会長	入門美穂	高　松	PTA会長
	山本主税	高松商業	PTA会長
	神余智夫	丸　亀	校　長
理　事	寺井新一朗	三本松	PTA会長
	佐藤隆宏	石　田	校　長
	川西裕幸	高松南	PTA会長
	野村さゆり	高松北	PTA会長
	山﨑　恵	坂出工業	PTA会長
	白川太一郎	善通寺第一	PTA会長

役職名	氏　名		単P等職名
理　事	小山圭二	観音寺第一	校　長
	亀山麿聖	観音寺総合	PTA会長
	香川泰造	高松中央	校　長
	三谷雄治	坂出第一	校　長
	廣瀬尚子	香川中部支援	校　長
常務理事	國木健司	高P連事務局	事務局長
監　事	山田士郎	高　松　西	PTA会長
	高田　智	丸亀城西	PTA会長
顧　問	泉　満	高P連元会長	顧　問
	千切谷耕一郎	高P連前会長	顧　問

【新規事業！】県内大学・短大との連携事業開始！

○生徒のキャリア形成や進路選択を支援します！
○県内大学等の魅力や取組みを発信します！！

≪連携事業≫

1　「高P連だより」に大学紹介記事を掲載
・大学の無力や特色に加え、生徒のキャリア形成に役立つ情報を提供

2　保護者対象の大学等合同進学説明会
・期日　令和5年12月9日（土）13：00～
・会場　かがわ国際会議場
・内容　大手予備校講師による進学講演会
　　各大学・短大によるプレゼン

3　高P連主催の県内大学等訪問研修
・保護者対象のオープンキャンパス
・現地集合・現地解散で開催
・実施可能となった大学からご案内します

令和5年度「振興奨励助成事業」決定！

○助成対象団体・学校
①高等学校関係研究団体
・**香川県高等学校教育研究会工業部会**
（ロボット相撲大会用の土俵製作）
②積極的に教育研究を推進する学校
・**藤井学園寒川高校**
（総合的な探究の時間の活動振興）
・**高松北中・高校**
（古都京都の魅力発見と国際交流）
・**坂出第一高校**
（地域の高齢者のためのお弁当考案）
③特色ある取組みを推進する単位PTA
・**高松北高校PTA**
（地域の美化活動と防災訓練計画）
・**大手前丸亀中・高校PTA**
（生徒保護者対象の芸術鑑賞教室）
○助成数・金額　6団体、各5万円

祝　表　彰
～おめでとうございます～

宮城大会における文部科学大臣表彰･全国高P連会長表彰は、香川県から次の個人･団体等が表彰されました。

PTA活動振興功労者表彰（文部科学大臣表彰）

泉　満　様
（全国高P連前会長、香川県高P連元会長）

千切谷耕一郎　様
（香川県高P連前会長）

安藤　航二　様
（香川県高P連前事務局長）

全国高P連役員等表彰（個人）

二川　佳子　様
（香川県高P連前事務局員）

全国高P連会長表彰（団体）

高松西高等学校PTA

坂出工業高等学校PTA

全国高P連会長表彰（個人）

竹野　安子　様
（高松高等学校前PTA会長）

森田　光弘　様
（高松西高等学校前PTA会長）

香川大学

香川大学では、6学部3学科（教育学部・法学部・経済学部・医学部［医学科、看護学科、臨床心理学科］・創造工学部・農学部）と大学院6研究科（教育学研究科・医学系研究科・工学研究科・農学研究科・地域マネジメント研究科・創発科学研究科）において約5千7百名の学部学生と約8百名の大学院生が学んでいます。

1949年に、高松経済専門学校を母体にした経済学部と、香川師範学校、香川青年師範学校を母体にした学芸学部（後に教育学部に改組）の2学部からなる香川大学が誕生しました。1955年に農学部、1981年に法学部、1997年に工学部が設置され、2003年には香川医科大学と統合し新香川大学となり、さらに国立大学法人法の制定に伴い2004年に国立大学法人香川大学となり現在に至っています。

2018年度に工学部を母体に創造工学部を開設し、経済学部では1学科5コース制に改組し、経済、経営、金融など基盤的経済学分野のほかに、観光を起点にした地域振興やグローバル化時代に活躍する課題解決能力の高い人材育成を行っています。医学部には医学科、看護学科に加え、国立大学医学部としては初めて臨床心理学科を新設しました。

大学院では、2022年度に法学研究科、経済学研究科、教育学研究科の一部と工学研究科を統合した「創発科学研究科（修士課程）」を開設し、令和6年度から創発科学研究科博士後期課程を新たに開設します。このほか、医学系研究科では2020年度に臨床心理学専攻（修士課程）を開設し、国家資格である公認心理師取得を目指した人材育成を行っています。看護学専攻では2022年度から博士後期課程を開設しました。農学研究科は2018年度に大幅な改組を行い、香川大学の誇る希少糖研究で得た研究開発の哲学を学びながら、生命・生物、環境、資源などの幅広い科学分野で人材育成を行っています。

香川大学は、地域の知の拠点として産業界や自治体、地域コミュニティと協働し、様々な背景を持つ研究者の「つながり・結合」により、選ばれる大学機関として教育・研究を推進していきます。未体験の価値を創出し、強靭で幸福感に溢れた地域社会の構築に貢献する人材を育成していきます。

香川大学の入学者の受入方針：本学の理念である「世界水準の教育研究活動により、創造的で人間性豊かな専門職業人・研究者を養成し、地域社会をリードするとともに共生社会の実現に貢献する。」このことにふさわしい学生を求めています。

教育の目標：豊かな人間性と高い倫理性の上に、幅広い基礎力と高度な専門知識に支えられた課題探求能力を備え、国際的に活動できる人材を育成します。

研究の目標：多様な価値観の融合から発想される創造的・革新的基礎研究の上に、特色ある研究を開花させ、社会の諸課題の解決に向けた応用的研究を展開します。

地域貢献の目標：「知」の源泉として、地域のニーズに応えるとともに、蓄積された研究成果をもとに、文化、産業、医療、生涯学習などの振興に寄与します。

入試制度：入学者選抜方法として①総合型選抜Ⅰ、②学校推薦型選抜Ⅰ型・Ⅱ型③一般選抜前期日程・後期日程④社会人選抜（夜間主コース）⑤国際バカロレア選抜⑥私費外国人留学生選抜などの多様な入試を用意しています。

高校時代に取り組んでほしいこと：大学入学までに修得が期待される内容を各学部が示しています。高等学校等における学習や課外活動を通して、幅広い視野と主体性・協働性を養い、自分の考えを表現できるような力を身につけておいてください。高等学校において文系・理系にとらわれない幅広い学習をしてください。論理的思考力を養うために普段から新聞を読んだり、読書習慣を身につけたりすることも重要です。他者とのコミュニケーションを確立するために必要な基礎的学力を身につけていることが重要です。

取得可能な免許・資格等：

教育学部：所属コース別に幼稚園教諭一種免許状、小学校教諭一種免許状、中学校教諭一種免許状、高等学校教諭一種免許状、特別支援学校一種免許状、保育士資格（幼児教育コースのみ）

法学部：高等学校教諭一種免許状（公民）

経済学部：高等学校教諭一種免許状（商業）

医学部医学科：医師免許（国家試験に合格すること）

医学部看護学科：看護師免許（国家試験に合格すること）養護教諭一種免許状（教職科目の単位を取得すること）

医学部臨床心理学科：認定心理士、児童指導員、心理判定員

創造工学部：（所属コースにより高等学校教諭一種免許状を取得しやすいコース別）高等学校教諭一種免許状（理科）は（材料物質科学コース）高等学校教諭一種免許状（情報）は（情報システム・セキュリティコース、人工知能・通信ネットワークコース）高等学校教諭一種免許状（工業）は（造形・メディアデザインコースを除く6コース）

農学部：中学校教諭一種免許状（理科）、高等学校教諭一種免許状（理科・農業）

今春の就職率

教育学部：98.1%
法学部：95.7%
経済学部：97.5%
医学部：99.4%
創造工学部：99.5%
農学部：97.6%

今春の国家試験合格率

医師国家試験（新卒）：98.2%
看護師国家試験（新卒）97.0%
保健師国家試験（新卒）100%
助産師国家試験（R3年度から大学院看護学専攻助産学コース）100%

幸町キャンパス

林町創造工学部キャンパス

中央図書館

創造工学部学生

問い合わせ先：香川大学入試課
高松市幸町一番一号
電話（087）832-1182

せとうち観光専門職短期大学

●日本で唯一の観光専門職短大

せとうち観光専門職短期大学（略称：せと短）は、日本で初めての観光に特化した専門職短期大学として、２０２１年４月高松市に開学しました。学科は観光振興学科（３年制）の１学科です。キャンパスは高松駅方面から瀬戸大橋通りを東に約３キロのところにあり、旧高松テルサと聞くとわかる方が多いかもしれません。校舎の西側は新川と春日川の河口に屋島大橋、東側には屋島の山が鎮座していて最高のロケーションです。

ところで、皆さんは「専門職大学・専門職短期大学」というのはご存じですか。新しい学校種として２０１９年にスタートした専門職大学制度は、一般の大学・短期大学と同様に幅広い教養教育や学術に基づく専門教育に加え、実践的な教育や関連する他分野の教育を取り入れたハイブリットな大学として新たに創設されました。せと短の大きな特徴は次の５つです。①授業の３分の１以上が実習・実技の授業となっており、高度な実践力を身に付けます。②観光の理論に精通した学術教員と、観光業界で現場経験豊富な実務家教員から、理論と実践をバランスよく学べます。③長期の企業内実習（通算１５週間）により、実際の観光現場で実践力と思考力を養います。④観光に関連する他分野（経営・マーケティング、ＩＴ・ＡＩ、デザイン等）を学ぶことで、新たなモノやサービスを生み出すことのできる豊かな創造力を養成します。⑤卒業生には「観光短期大学士（専門職）」の学位が授与されます。

せと短は、観光地として世界から注目されている瀬戸内をキャンパスに、様々な観光事象を教授研究し、これからの観光を支える人材養成を目的として開学しました。

●観光は日本の重要な政策の柱

２００６年に成立した「観光立国推進基本法」では、「観光は21世紀における日本の重要な政策の柱」と位置付けられ、国は様々な観光施策を積極的に行ってきました。基本法の成立当時（２００６年）に７３３万人だったインバウンド（訪日外国人）が、コロナ前の２０１９年には３１８８万人にまで増加しました。その後３年間、新型コロナウイルスの影響でインバウンドが激減したことはご承知のとおりです。今年３月に「観光立国推進基本計画」が新たに出され、コロナ後の観光復興に向けた施策が進められており、７月のインバウンドは２３２万人と、２０１９年同月比８割に迫るところまで回復してきました。（日本政府観光局発表資料）

観光の復活は当然のこととして、観光がこれからの日本を支える基幹産業であることは間違いないと思います。

●就職に直結した実践的な学び

せと短の教育課程（カリキュラム）で一番の特徴となる科目が「臨地実務実習」です。この科目は、実際の観光現場で３回に分けて段階的に実習を行うもので、１年次に行う「臨地実務実習Ⅰ」では、香川県内の観光関連施設で３週間実習を行います。当該施設の業務が地域観光といかに結びついているかをエリアで考えます。２年次に行う「臨地実務実習Ⅱ・Ⅲ」は各６週間の実習で、各自が就職を希望する職種にあわせた実習先で行います。２年次進級時に「観光地域創生」「航空」「鉄道」「宿泊」から、自身の進路にあわせたクラスを選択します。実習Ⅱ・Ⅲでは、当該施設の基礎から応用的・管理的な実務まで体験的に学ぶようになっています。臨地実務実習を終えた学生は、実習前と比べて数段成長して帰ってきます。せと短の特徴である「臨地実務実習」は、３年次から始まる就職活動に直結した大切な学びの場となっています。

●期待されている観光人材

観光業界や自治体からは、これからの観光を支える担い手の養成について強い要望があります。卒業年次となった一期生が就職活動を行っていますが、全国の観光関連企業・団体から多くの求人をいただいており、期待の大きさを感じています。一期生の就職活動は順調に進んでおり、一人が複数から内定をいただいている状況です。今後の、せと短卒業生の活躍にご期待ください

第65回 中国・四国地区高等学校PTA連合会大会 岡山 大会報告

大会テーマ

集まれば こころはればれ 晴れの国

～「集まる」「話す」の大切さ再発見～

7月14日（金）、岡山県倉敷市民会館ホールにおいて岡山大会が開催され、中国・四国より約1200名、香川県からは34校、67名が参加しました。

開会行事の後、紀行作家で一級建築士の稲葉なおと氏から、「倉敷から始める家族旅」と題して講演がありました。倉敷市内や岡山県内に数多く残る建物を中心に、世界の21軒の名建築を巡る旅の魅力や味わい方などについて詳しくお話しいただきました。

午後の部では、まず地元倉敷市内の3校の高校生による課題解決型学習（PBL）の発表がありました。子ども食堂やみずしま財団など地域と連携した探究活動に取り組む倉敷古城池高校、探究的な見方・考え方を養いながら地域の活性化に寄与する活動に取り組む倉敷商商業高校、800年の歴史を誇る白石踊の保存・継承や抹茶の製造・販売に取り組む倉敷翠松高校の代表者が、仲間と協力しながら発表しました。

続く研究協議では、広島県立広島皆実高等学校が「仲間と共に「不撓不屈」で乗り越えろ!!　～コロナ禍　学校とPTAの初挑戦の軌跡～」と題し、学校の一大行事である大運動会についてプロの業者の協力を得て撮影・編集からネット配信まで行うという新たな活動へのチャレンジを紹介しました。徳島県立吉野川高等学校からは、「地域に愛される学校　ともに挑んだ10年　～再編統合から10周年を迎えて～」と題して、学校の統廃合に伴うPTAの併合について、8年間に及ぶ話合いや協議結果のPTA役員との共有など、統廃合校ならではのご苦労が紹介されました。最後に、岡山県立倉敷南高等学校による「運営の充実と協力体制により、学校の学びを支える～キャリアの学び・グローバルな学び～」の発表では、地元の企業や施設と連携したキャリア教育の支援や、ニュージーランドの高校との相互訪問の企画や支援を行うグローバル教育での貢献が紹介されました。いずれの発表も、大会テーマが掲げた「集まる」「話す」ことが、コロナを乗り越え、PTA活動に新たな希望の光や進歩をもたらすと訴える点で共通しており、大変有意義な研究協議となりました。

また、会場入り口付近では、地元の高校生たちが作った工芸品や加工品などを数多く販売していて、大変賑わっていました。笑顔で元気よく挨拶をしながら販売する生徒の姿に、人が多く集まることではればれとした気持ちになれる大会のテーマの本質を見たような気持ちになりました。

閉会行事では、次期開催県である高知県の方々による、趣向を凝らした高知大会の紹介や歓迎の挨拶があり、大盛況のうちに大会が終了しました。

開会行事　菊池会長の挨拶

会場で活躍する高校生たち

第72回 全国高等学校PTA連合会大会 宮城 大会報告

大会テーマ

「豊かな杜につむぐ虹の光」

～しなやかな強さで生き抜く力～

8月24日（木）・25日（金）に、宮城県仙台市「カメイアリーナ仙台」他5会場で、第72回全国高等学校PTA連合会大会宮城大会が開催されました。大会には、香川県から28校55名が、全国からは約5000名が参加しました。現地参加以外にオンライン参加した学校が5校ありました。高P連プランは2泊3日の旅程で大会参加に3か所での防災研修を加えたコースで実施しました。フルプランで参加していただいた会員の方は42名です。

大会第1日目は、6か所の会場に分かれて、高校生による合唱のアトラクションの放映や開会行事に続いて分科会が行われました。それぞれ基調講演とパネルディスカッション第1分科会は「地域教育」、第2分科会は「学校教育」、第3分科会は「レジリエンス教育」、第4分科会は「情報交換会」、第5分科会は「防災・減災教育」、第6分科会は「主権者教育」と分野は異なりますが、すべての分科会のメインテーマには「光」の言葉が付され、さまざまな課題に対し未来への希望の光を見出そうとする主催者の強い意志が感じられました。

大会2日目には、「白A」によるプロジェクションマッピングのパフォーマンスが披露され、幻想的な企画と演出に感動しました。その後、開会行事と表彰式、記念講演が行われました。全国高P連会長表彰では本県から高P連副会長の竹野安子氏と監事の森田光弘氏が個人表彰、高松西高校と坂出工業高校の2校が団体表彰、さらに役員等個人表彰を前高P連事務局員の二川佳子氏が受けられました。また、5年に一度の文部科学省によるPTA活動振興功労者表彰（個人）でも、泉満元会長（前全国高P連会長）、千切谷耕一郎前会長、安藤航二前事務局長の3名が表彰されるなど、今年も歴史的な表彰式となりました。

記念講演は、昨年の夏の全国高校野球選手権大会で悲願だった東北初の全国優勝を成し遂げ、今年は惜しくも準優勝となった仙台育英高校の須江航監督による講演でした。演題は「伝わる言葉～失敗から学ぶ～」です。昨年度の優勝の際のインタビューで、有名な「青春って、すごく密なんです」という有名な言葉を残されましたが、今回の講演会でも決勝での敗戦後に語った「人生は敗者復活戦」という言葉に触れられ、「人生の中で勝てることはほとんどない。人は負けから多くのことを学ぶ。大切なのは挫折との向き合い方だ。」という言葉に、生徒を本気にさせる指導の原点を見ることができました。そして、「組織や個人を伸ばすためには、与えることや丁寧に説明し伝えること、自分（先生）も挑戦し失敗すること。」と話されました。一人一人の成長のために丁寧な対話を心掛け、野球だけでなく人としての成長につながる指導に努めておられる先生のお話は、学校現場の先生方にも大変参考になるお話でした。（詳しい内容は高P連HPをご覧ください）

閉会式では、大会実行委員長から参加の皆様に感謝の言葉が述べられ、次期開催地の茨城県へ全国高P連旗が引き継がれました。

2日目全体会開会行事

PTA活動紹介

琴平高校

本校のＰＴＡは、ありがたいことに在校生徒全員の保護者の皆様にご加入いただき、一般会員の他に各クラスから選出される評議員と評議員から毎年選出される本部役員で活動しています。主な活動としては、高Ｐ連主催の研修会や人権・同和教育研修会への参加、学校で行われる各種講演会、琴高祭（文化祭）への参加などです。

とりわけ、大きな活動としては琴高祭への参加があげられます。コロナ禍前までは、ＰＴＡバザーとして焼き鳥や焼きそばなどを販売していました。左の写真は、コロナ禍直前の令和元年度に行ったバザーの様子です。調理実習室をお借りして下ごしらえを行い、バザーテントで焼いて販売をしました。多くの保護者に参加していただき、和気あいあいとしたとても楽しい雰囲気で実施できました。また、生徒のバザーに混じっての販売でしたので、子どもたちがバザーに一生懸命取り組み、琴高祭を楽しむ様子を直接肌で感じ取ることができました。

令和元年度琴高祭バザーの様子

残念ながら、その後はコロナ禍により実施することができませんでしたが、昨年、ようやく再開することができました。とはいうものの、制限付きの琴高祭であったため、以前のように調理して販売することはできず、初の試みとしてアイスクリームの販売をしてみました。販売所の飾り付けやバザー券との引き替えなど、多くの保護者の方々にご協力いただき、無事やり終えることができました。今年度は、各家庭から持ち寄っていただいた品物を販売するフリーマーケットを行いました。また、体育館では近隣のよさこいグループに来ていただいて、子どもたちも一緒になって楽しめる参加型のイベントを行い、琴高祭を大いに盛り上げることができました。

今年度よさこいの様子

学校行事や各種講演会への参加、年３回行われるＰＴＡ評議員会などを通して、少しでも子どもたちの成長に役立ちたいとの思いでＰＴＡ活動に取り組んでいます。これからも、学校と連携を取りながら、子どもたちのために活動していきたいと思っています。

香川誠陵 中学校・高等学校

本校は今年度で開校29年目を迎えます。ＰＴＡ（誠陵会）活動は、家庭と学校、および学校に併設している五色寮との緊密な連携のもと、生徒の資質と能力を最大限に発揮させ、建学の精神を涵養し、健全な人間形成を図ることを目的として活動をしています。

組織としては会長・副会長・各学年代表からなる理事会を中心として、寮・広報・育成・行事・教養研修の各専門委員会から構成されています。

年間の主な活動としては、行事委員会を中心とした、９月の文化祭（誠陵祭）でのバザー活動があります。今年はコロナの影響により、４年ぶりの開催となりましたが、各家庭から持ち寄って集めた品物の値付け・陳列・販売等を協力して行い、地域の方々にも大変喜んでいただき、コロナ前の活気のある活動を取り戻すができました。この活動を通して、何よりも学年を超えての保護者同士の繋がりもでき、今後の学校生活を送っていく上での貴重な活動となりました。

また、本校は県外からも入学生があり、各地域（香川県内・四国・中国・九州・近畿・中部・関東地方）の各支部に分かれて、保護者・教員・寮職員との懇談会を、それぞれの地域で開催しています。地元での開催ですので、時には卒業生やその保護者も囲んでの懐かしい話もお伺いすることができます。この支部懇談会も、久しぶりの開催となりますが、教職員と保護者との絆を深めながら、各地域での広報活動も兼ねて実施していく予定です。

ここ数年間はコロナの影響により、さまざまな活動が中止・変更を余儀なくされましたが、次に繋がる成長・糧となるよう、この経験を生かしていきたいと思います。また、これからも学校と保護者が連携・協力して、子供たちの更なる成長へ向けた支援や、教育活動の充実に努めてまいります。

県教育委員会より

東讃地域の新しい統合高校について

歴史と伝統のある石田高校、志度高校、津田高校の3校を統合して、さぬき市造田地区に新たに整備を進めている高校は、令和10年4月の開校をめざしています。

この統合高校では、現在の3校にあるすべての学科を残して、5学科（普通科、農業科、工業科、商業科、家庭科）を設置し、従来の学科縦割りの学びではなく、複数の学科に様々な価値観を持つ生徒が集まることを生かし、「時代に即応した専門教育」「地域の課題解決型学習」「学科横断型教育」を3本柱とした教育活動を展開したいと考えています。

また、学校と地域が一体となったコンソーシアムを作り、地元自治体、大学、企業、同窓会などと共同で、様々な取組みを行い、地域と連携した教育活動を推進していきたいと考えています。

「東讃地域の新しい統合高校のグランドデザイン」に示すように、新たに整備する高校で学ぶ子どもたちが「夢をかなえ、地域を支え、未来に羽ばたく」ことができるよう、また、子どもたちにとって魅力あふれる学校となり、地域の方々に愛され、期待される学校となるよう、整備を進めてまいります。

第49回全国高等学校総合文化祭「かがわ総文祭2025」

令和7年7月に、全国最大規模の高校文化部の祭典が香川県で開催されます。この大会は、全国から約2万人の高校生が集い、合唱や書道など23の部門で発表・展示・競技などが繰り広げられます。

今年6月には、第1回香川県実行委員会が開かれ、大会日程や開催会場（県内全市町で実施予定）、各部門の実施内容等が決定しました。

また、7月には県内の高校1・2年生34名からなる生徒実行委員会が発足し、今夏鹿児島県内で開催された第47回大会の総合開会式やパレード、生徒交流会に参加し、先催県の生徒から運営のノウハウや大会にかける熱い思いを学びました。

今年度、生徒実行委員会では「おもてなし・開会行事・広報イベント・国際交流」の4委員会での活動に加え、大会開催500日前イベント等を企画し、県民への広報活動を実施していきます。

保護者の皆様におかれましても、高校生の文化の祭典に御理解と御協力をいただければ幸いです。

生徒実行委員会委嘱状交付式

PTA NEWS　高P連より

第1回　香川県高等学校等広報誌コンクールを実施しました

高P連では、今年度から各学校の広報誌について本県独自にコンクールを実施することにしました。発行にご尽力されているＰＴＡ役員の方々のご労苦を労い、その質的な向上と広報活動の活性化を図るためです。

６月８日のＰＴＡ活動推進功労者表彰に続けて表彰式が行われ、各校の作品の特徴を踏まえた独自の表彰状と記念品が贈られました。

今年度の各賞の受賞校は次のとおりです。

最優秀賞	香川中部支援学校	優 良 賞	三本松高校
優 秀 賞	高松西高校		香川中央高校
	高松桜井高校		香川県藤井高校
	高瀬高校		藤井学園寒川高校
	高松北高校	企 画 賞	香川中部支援学校

※令和6年度も実施しますので、多数の応募をお待ちしています。

PTA NEWS　高P連より　（一般財団法人香川県高等学校教育振興会主催）

第28回大学・専門学校訪問研修会(大阪方面)を実施します

今年のテーマ【日本「一」の学校を体感しよう！】

期　　日　令和5年10月20日(金)・21日(土)

訪 問 校　大阪公立大学(杉本キャンパス)：日本一新しい統合公立大学
近畿大学(東大阪キャンパス)：10年連続志願者数日本一
大阪工業大学(大宮キャンパス)：日本唯一の知的財産学部設置
辻調理師専門学校：日本第一号の調理師学校

10数年ぶりに、公立大学への訪問を実施します

高校生総合保障制度

引受保険会社　：　AIG損害保険株式会社

〈担当代理店〉　㈲アワード　TMG（トータルマネジメントグループ）　㈱アイネクスト